

# 目次

## ■ 職場部門（エピソード1～5）

1	女性ならではの発想?? .....	2
2-A	緊急時はどっち? .....	2
2-B	熱を出した子どもを看病するのは? .....	2
3	何気ない会話の中で感じるジェンダー .....	3
4	男とか女でなくて人と人 .....	3
5	かわいい女の子なのに .....	3

## ■ 家庭部門（エピソード6～10）

6	『イクメン』は古い? .....	4
7	妻の誕生日に気づいたこと .....	4
8	家庭で行われる無意識の差別 .....	5
9	なんでも「お父さん」 .....	5
10	女性だから・・・ .....	6

## ■ 地域部門（エピソード11～15）

11	ピンク色の靴 .....	7
12-A	文理選択に性別は関係ない .....	7
12-B	娘の進学 .....	8
12-C	心配でしぼり付ける .....	8
13-A	学校の役員はなぜお母さん? .....	8
13-B	保護者ってだれ? .....	9
13-C	来てくれたお母さんにお礼を .....	9
14	ゴミ捨てについてのハテ?? .....	9
15	それって自分のことだ .....	10

アルファベットの付いたエピソードは、主旨が似ているため、1つの枠としています。  
動画制作の際にはアルファベットのいずれかを選択しても、まとめて表現しても構いません。

## 職場部門 (エピソード1～5)

### 1 女性ならではの発想??

20代女性

私は今年度から、文章やデザインなどを扱う仕事を任されました。  
これまでは男性職員がその担当を担っており、女性職員は初とのことでした。  
私はそのことに対して特に何も思っていなかったのですが、  
「女性ならではの発想を期待してるよ」と何人かの職員から声をかけられました。  
いったい何を期待されているのでしょうか？  
柔らかい・優しい表現？センスのあるデザイン？  
しかしながら、私が文章構成に悩んでいると、  
前任の男性職員は温かみのある素敵なことばを考えてくださいます。  
女性ならではの発想とはいったい何なのでしょう？

### 2-A 緊急時はどっち？

50代男性

学校の教員をしていると、生徒に何かあった時、保護者に電話しなければならない。  
そんな時無意識に母親にかけてしまう。  
実際に母親の方がつながりやすいし、迎えにきてくれる。  
父親にかけると驚いた様子で母親にかけ直してくれと言われたり、  
仕事が抜けられないと言われたりする。  
そんな経験が無意識に母親の電話番号を選ばせていたのだと思う。  
でもある時母親にかけたら、仕事が忙しいから父親が行きますと言われた。  
実際に父親が来た。その時、自分には先入観があったんだと思った。  
最近では学校に提出する書類に緊急連絡先の優先順位を書く欄があるので  
その順でかけることにしている。でもその順位、圧倒的に母親が1位になっている。

### 2-B 熱を出した子どもを看病するのは？

20代女性

「すみません、娘が熱を出してしまっ、今日一日お休みをいただきたいです。」  
この文がグループLINEにポンッと送られてきた。  
これを読んでいるあなたは、誰がこの文章を送ったと思いましたか？  
お父さん(男性)、お母さん(女性)どちらだと思いましたか？  
子どもを看病する時、多くの人はお母さんが面倒を見るところではないのでしょうか？  
私の職場では、この文章をお父さん(男性)が送ってくる。  
すると、同僚から「奥さん、見れないのかしら。」そんな声が聞こえてきた。  
子どもが熱を出した時、看病するのはお母さん(女性)、  
お父さん(男性)は働くと言う見方を無意識にしているのではないか。  
大事な子どもを看病するのだから、  
そこに父親・母親という性別で判断するのはおかしいのではないかと感じてしまった

### 3 何気ない会話の中で感じるジェンダー

50代女性

私は、全国展開企業に勤めている女性です。  
昨年、岐阜地域の責任者を拝命し、他県から引っ越して単身赴任を始めました。  
お得意様にご挨拶回りをしていると、先方からこんなお言葉をいただくことがあります。  
「ご自宅に残されたご主人は、家事をしなくてはならなくて可哀そうですね。」  
・・・可哀そう？  
「今日は、どなたかの代理でいらっしゃったんですか。」  
・・・女性なもので、貫禄なくてすみません。  
「さすがに大きい会社さんは、女性の登用が進んでいますね。」  
・・・女性だから任命されたのかな？  
何気ないお言葉に、根強いジェンダーを感じます。  
良かれと思っての事ですから何も気にしていませんが、  
ほんの少しだけアレツと思いますね。

### 4 男とか女でなくて人と人

70代男性

デイケアサービス事業所の送迎運転手としてパート勤務しています。  
介護士も看護師もずーっと全員女性の職場でした。  
そこへ40代の男性が「介護士見習い」として就職してきました。  
パンチパーマで見た目は少し強面です。  
朝夕の送迎時に彼と利用者さんのお宅へ行くと  
家族の方がびっくりされているのが分かりました。  
口には出されませんが、「この人が介護スタッフで大丈夫かな？」  
という思いが伝わってきます。その度に、思い込みを感じました。  
「高齢者介護は女性の仕事」という意識がやはり強いですねえ。  
実際は、入浴やトイレの介助などに力が必要としますので  
男性の方がスムーズに介護できるということもあるのです。  
あっ、失言取り消しです。  
「男性の方が女性より力が強い」なんて、それこそ思い込みですねえ。人によりけりです。  
介護現場は人手不足です。  
男とか女でなくて、人と人として笑顔で勤務できる介護現場であってほしいです。

### 5 かわいい女の子なのに

50代女性

学習塾を開いております。  
危険生物について調べるのが大好きな小3の女の子。  
「かわいい女の子なのに、すごいね！」思わずついて出た言葉。  
女性の研究者もいるはずです。  
危険生物＝男の子が好きなもの  
勝手な決めつけですね。  
これがアンコンシャスバイアスか、と自覚し、反省しました。

## 家庭部門 (エピソード6～10)

### 6 『イクメン』は古い？

60代女性

我が家の息子は現在33歳で、結婚して子どもも2人います。家族で実家に帰省した時もゆっくりすることもなく、朝から子どもの朝食準備をしたりお風呂に入れたり寝かしつけたり、大便のおむつを替えたりと、せっせと育児に励んでいます。独身で実家にいた頃からは想像もできない姿でした。それを見て感心した私は「しっかり『イクメン』していて偉いね」と褒めました。私は自分たちの若かった頃にはなかった『イクメン』というイマドキの言葉を使って、精一杯褒めたつもりでしたが、何と息子からは「母さん『イクメン』という言葉を使う段階で考えが古い。これが当然」とピシヤリと言われてしまいました。そうか～イクメンは古いのか。男が育児をするのも今は当然なんだと、イマドキの息子に教えられました。同時に、当たり前のことを褒めた私は何て古い思い込みで囚われていたのかと、自分を反省しました。息子よありがとう。これからもいいお父さんでいてね

### 7 妻の誕生日に気づいたこと

50代男性

それは、妻の誕生日でした。晚ご飯を前にした夕暮れ時、息子や娘を含む家族がいつものようにテーブルに着き、食事が始まるのを待っていました。食べ盛りの小学生の息子は「お腹が減った」と言います。娘はスマホとにらめっこ。かく言う私も、当たり前のように、皿が運ばれてくるのを座って待っていました。すると、キッチンの奥に立つ妻がぼつりと言いました。「きょうぐらいは、食事（の準備）をしなくても、いいのかなと思っていた」。寂しそうな表情でした。家計を助けるため、アルバイトを掛け持ちする妻は、食事作りも掃除も洗濯も、家事をよく、こなします。僕たち家族は、それに疑問を持たず、彼女の行為に甘えてきました。「妻だから」「母親だから」、そして「女だから」と。これも、アンコンシャス・バイアスなのでしょう。その日から、私は風呂掃除を分担するようになりました。子どもたちも、食事前は配膳を手伝うようになりました。

私は妊娠出産を機に夫の実家がある岐阜県に移り住みました。  
それまで学生時代や就職先で性差による差別を強く意識した事はありませんでした。  
引っ越して早々に驚いた事は新居にと義父が用意した表札に  
夫のフルネームだけが書かれ私の名前がなかったことです。  
配達の方が荷物を手渡す際に  
「こちらにアイコさんはお住まいですか？」と聞いてくる始末、  
なぜ私の存在が消されるのかと悲しくてなりません。  
その他にも葬儀の際には女性だけがエプロンを持参するように言われたり、  
私の実家に行っても夫は座っているだけなのに、  
夫の実家に行くと私に手伝うよう言ってきます。夫は実家でも座っているだけです。  
まるで召使のような扱いに腹が立ち、出来れば夫の実家には行きたくないと思いました。  
その他にも子どもが体調を崩しても  
「男は仕事を休めない」と私が仕事を休む事を当然といった態度。  
何度も職場へ休みの連絡を入れるのは性別に関係なく気が重いです。

同じくらいの年齢の夫と二人暮らしです。  
新しいことがさっぱり覚えられないだけでなく、  
昔はできたはずのこともどんどん出来なくなっているのを実感しています。  
(キーボードも全然できません。この文章も、書いたものを息子が入れてくれています。)  
分からないとき、出来ないときに、必ず口にしてしまうのが、  
お父さんに「お父さんがこの家の長なんだから、しっかりしてよ」という言葉です。  
お父さんを立てているつもりでしたが、お父さんもいろいろ出来なくなって当たり前。  
一歩さがっているように見えて、本当は、「私は女なんだからできなくても良い」、  
いろんなことの責任を持ちたくない、出来ないのを自分のせいとは思いたくない。  
そんな気持ちが隠れていたのかもしれませんが。  
これからは、「分からないねー、難しいねー、でもしょうがないよねー」  
と二人で肩ひじ張らずにやっていければと思います。

昔から、子供が一番好きな食べ物（おふくろの味）＝お母さんの作った料理と思われがちです。

しかし、我が息子の一番好きな食べ物はパパが作る鶏の唐揚げです。

「好きな食べ物なあに？」と誰かに聞かれ「パパが作る鶏のから揚げ！！」と答え「え！パパが作るの！すごいね！！」となる。

改めて、おふくろの味の意味を改めて調べてみました。

おふくろの味（おふくろのあじ）は、幼少期に経験した家庭料理、

もしくはそれによって形成された味覚、またそれらを想起させる料理を指す言葉。

つまり、＝お母さんの味ではないのです。

いろいろな家族の形が少しずつ受け入れられてきた時代。

おふくろの味＝パパの味が定着する日もちかい！？



## 地域部門 (エピソード11～15)

### 11 ピンク色の靴

30代女性

5歳の息子の靴を買いにいった時のこと、  
まず真っ先にレインボー色の靴を選んだのですが、靴の形が足に合わず、  
店員さんに足の形を確認してもらい、合う靴をいくつか用意してもらうことにしました。  
すると、持ってきていただいた靴は全て黒か青。  
試着するまでもなく、「この色は嫌。ピンクがいい！」と息子。  
それを聞いていた店員さんは、「女の子用になりますが大丈夫ですか？」と言いました。  
また、隣にいた兄も「男のくせにピンクって変なの」と言いました。  
何を言われようとピンクがいいということで、結局ハート柄のピンクの靴を購入しました。  
次の日、幼稚園でも女の子みたいと茶化されたようですが、  
帰ってきて「俺、何言われても気にしなかったよ！」と誇らしげな息子を見て、  
時代を変えていけるのはこうゆう人なんだろうなと思いました。  
今では兄も、そんな弟を変ではなく、お洒落と言うようになりました。

### 12-A 文理選択に性別は関係ない

10代以下 女性

私は現在、文系の高校二年生です。  
世界史に興味があった上に英語と国語の成績が特に良かったため文系に決めました。  
けれど、私の従兄は、現在理系の高校三年生です。  
私の祖母は私と従兄を比べて、よく「男子だから理系でしょ」  
「そりゃああなたは文系でしょ」などと性別で文理を分けた発言をします。  
従兄は男子だから理系で、私は女子だから文系。  
私は英語と国語と社会しかできない、と思われていることがとても不快で、  
恐ろしい固定概念だと思いました。  
一度、私は反論するつもりで「でも私、数学もできるよ。」と言いました。  
実際、高校一年生のときの数学のテストは理系志望の人と同じくらい良かったです。  
けれど祖母に「あらそう。でもあなたは文系だからそんなにできないでしょ。」  
と返されました。何も知らないくせに、とそのときは本当に腹を立てました。  
高齢者世帯の、こういった性別による固定概念がなくなってほしいと強く思います。



## 12-B 娘の進学

50代男性

数年前、娘が県外の大学に合格し、一人暮らしを始めました。娘が行きたかった大学ですし、私達はとても嬉しかったです。ただ、周囲の人から「娘さん、今、どうしているんですか？」と聞かれ、「〇〇大学に進学して、一人暮らししています」と答えると、聞いてはいけないことを聞いたような空気になり、続けて「大学で人生が決まるわけではないですから」、「残念でしたね」と言われることもありました。最初はあまり意味が分からなかったのですが、よくよく聞いてみると、「女の子なのに、自宅から通える大学に合格できなかった」、「女の子なのに、下宿させなければならなかった」という意味だと分かりました。世間的には、女の子は自宅から進学という考え方が根強くあるように感じました。

## 12-C 心配でしぼり付ける

20代女性

私が大学進学先を探していた頃の話、母に「あなたは女の子だから心配、将来も実家の近くに住んでほしいから近い大学にきなさい」と言われました。特にこだわりも無かったため一人暮らし不要な近場の大学に進みましたが、弟にはそんな縛りはありませんでした。周りの友人は県外や海外に行き気づけば地元ひとり。親には感謝は沢山ですが、女の子は遠くに行ってはだめ？

## 13-A 学校の役員はなぜお母さん？

60代女性

学校の役員経験がありますが、役員をやるのはほぼお母さん。なのに、会長はたいてい自営業のお父さん。これは一体どうしてでしょうか。上に立つのは男性。なのに大多数の活動者は女性。無意識のうちに、学校行事はお母さんが参加すると決めつけられている事に違和感を感じていました。



### 13-B 保護者ってだれ？

50代女性

子供が高校入試をする時、出願書類の保護者欄記入での出来事です。普段学校に提出する書類は母親である私が管理しているので自分の名前でサインしていました。入試の際もいつものように記入者である私がサインしましたので、保護者欄には母親の名前を記入しました。すると後日、中学の先生から書類を戻され電話で父親の名前を記入するように言われました。その際「なぜですか？」と担任に聞きましたが、納得できる回答は得られませんでした。育児のほとんどをしているのに保護者欄にサインできない事に失望しました。

### 13-C 来てくれたお母さんにお礼を

30代男性

ある平日、小学校で課外学習の説明会があったので私は仕事を休み参加をしました。先生から一通り説明を聞いた後、児童にむけて「今日来てくれたお母さんにお礼を言いましょう」と声がかかりました。その後、男性の保護者がいることに気が付いた先生が「お母さん」から「お家の方」と言い直しましたが、何となく気まずい空気感に。やはり平日に学校行事に参加するのは母親というイメージがあるのかな、と感じました。

### 14 ゴミ捨てについてのハテ??

50代女性

ある日、ごみを出しにいくと、近所の人に「お宅は旦那さんがいつもゴミ出ししてすごいわね。」と言われました。夫がゴミ出しする事を褒められたのか、自分があまりゴミ出ししないことを指摘されたのか??  
そもそも家庭のゴミは誰が捨ててもいいことだと思いますが、、、  
でも、中学生や高校生がゴミ出ししているとすごいと思う自分も「ゴミ出しは大人がすべき」という無意識の思い込みがあるのかもしれない。

男の友達が離婚しました。

妻がしばしば育児や家事をせず、飲みに出かけて朝まで帰ってこないといいます。

「俺がご飯をつくって、洗濯をして、あさ子供を送り出したんだ」。

男ばかりの輪の中に広がる同情のため息。しかし、ふと気づいてしまいました。

「それって、俺のことだ」

いくら「手伝う」ことはあっても、基本的に家事や育児は妻が負ってくれている、  
という思いがどこかにあります。

飲み会で終電を逃して漫画喫茶で夜を明かしても、

早起きして子供の弁当をつくらなくても、洗濯や掃除を忘れていても、

妻がやってくれていると油断しています。

少なくとも、ため息を漏らした男たちには、同じ気の緩みがあるに違いありません。

男なら仕事だなんだと言い訳をして流されてしまう話も、

男女の、夫婦の立場が変われば、とんでもない悪妻かのような扱いを受け、

離婚の原因にまでなってしまうのです。自分の思い込みを恥じた、苦い思い出です。

